



2012年3月6日

報道関係各位

TIS 株式会社

TIS、システムインフラのクラウド選定コンサルティングサービス 『Cloud × Vision』の提供を開始

～オーダーメイドで最適なシステムインフラ環境のロードマップを提示～

ITホールディングスグループのTIS株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:桑野 徹、以下 TIS) は、企業のシステムインフラ環境に最適なクラウドサービスの選定と移行にむけたロードマップの提示を行うコンサルティングサービス『Cloud × Vision (クラウドビジョン)』を本日より提供開始することを発表します。

本サービスは TIS が提供する「IT 戦略コンサルティングサービス」のテーマの1つである「IT-Management」の強化の一環としてサービス化したものです。

『Cloud × Vision』は、企業全体の既存のシステムインフラを、“信頼性”“拡張性”などのシステム要件のほか、“ビジネスとの関係性”など12の指標を用いて診断し、移行先として最適なクラウドサービスを選定します。さらに、それぞれの環境を組み合わせたシステム構成のベーシックデザインと、具体的な実装・運用方法をもとに、新環境の構築から移行までを含めたロードマップを提示します。

TIS では、サーバ100台以上の大規模なシステム環境を保有する企業を中心に本サービスを展開し、今後3年間で30社の企業に提供することを目指します。

■背景と課題

ビジネスの早期立ち上げ、BCP対策、コスト削減など、様々な目的でクラウドの導入を検討する企業が増加しています。しかし、一言に「クラウドの導入」と言っても検討する上では以下のような課題があります。

- ・複数あるクラウドサービスとオンプレミス型の最適な使い分けが分からない
- ・クラウドやオンプレミス型の環境が混在する環境を効率的に運用する手段が知りたい
- ・クラウドの導入でコストメリットが出せるか試算したい

これらの課題を解決するのが本サービスです。

■『Cloud × Vision』の概要

本サービスでは、TIS とお客様でディスカッションを行いながら、ステップを追って、最適なクラウドサービスの選定と新環境への移行までのロードマップを作成します。

例えば、稼動までのスピードが要求される Web サービスにはパブリッククラウドを、より高い性

能保証や自社ポリシーに合わせた運用が必要なシステムにはプライベートクラウドを、ハイエンドな要件と自由度を両立させたい場合にはエンタープライズクラウド※とするなど、“ビジネス”“システム”“コスト”の観点からバランスのとれたシステムインフラ環境の選択が可能になります。

※) エンタープライズクラウド：パブリッククラウドのメリットを生かしつつ、企業のシステム基盤として求められる比較的ハイエンドの要件に応えるためのクラウドサービス。パブリッククラウドに比べ、システム構成に比較的自由度を持たせ、障害発生時の対応など手厚いサポートサービスが特長。

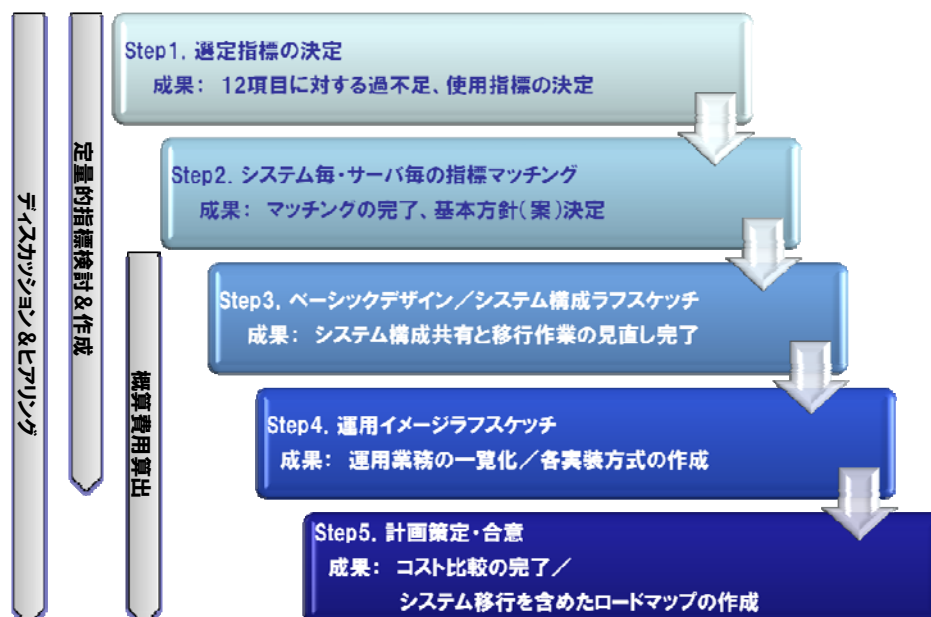
■『Cloud × Vision』の選定指標

本サービスでは、12の選定指標を用いて個々のサーバを診断し最適な再配置先を選定します。

順	指標	説明
1	保水性・機密性	対象となるサーバに重要なデータが存在しているか否か。
2	アプリケーション	アプリケーションのライセンスがクラウド環境に対応しているか。また動作保証・稼働実績はあるか。
3	移行・既存連携	データ量の多さはどうか。単体で機能を果たしているサーバか、他システムとの連携が少ないか否か。
4	可用性	同様の設定が施されている複数のサーバで機能を成しているもの(Webサーバ関連)で、ロードバランサー等による分散により可用性向上が見込まれるものかどうか。
5	システム・サーバ特性	スケールアウト方式のシステム構成であり、状況に応じてサーバを単純増設可能なものかどうか。
6	拡張性	予期せぬピークや、頻繁にピークが発生し、状況に応じてリソース増強を行う必要があるかどうか。
7	保守性	通常運用時に殆どメンテナンス作業が無く、サーバが正常に稼働していれば良いものかどうか。
8	性能・リソース	各システム・サーバのリソース確定要件(要望)に合せて評価する。
9	信頼性	システム停止時間の許容範囲はどの程度か。
10	運用管理	サービス提供のマネージドサービスで運用可能か/自社対応すべき運用業務があるか。
11	ビジネス	ビジネスサイクルが短期間でシステム依存度が高いか/コアビジネスを支えるシステムで長期的に利用継続するものか。
12	コスト	コストの定常化が必要か/規模に応じたコスト変動を許容できるか。

■『Cloud × Vision』の診断ステップ

本サービスでは、以下のステップで最適なクラウド環境の選定とシステム移行までのロードマップの提示を行います。



■ 『Cloud × Vision』 活用のメリット

本サービスの活用によるお客様のメリットは以下の通りです。

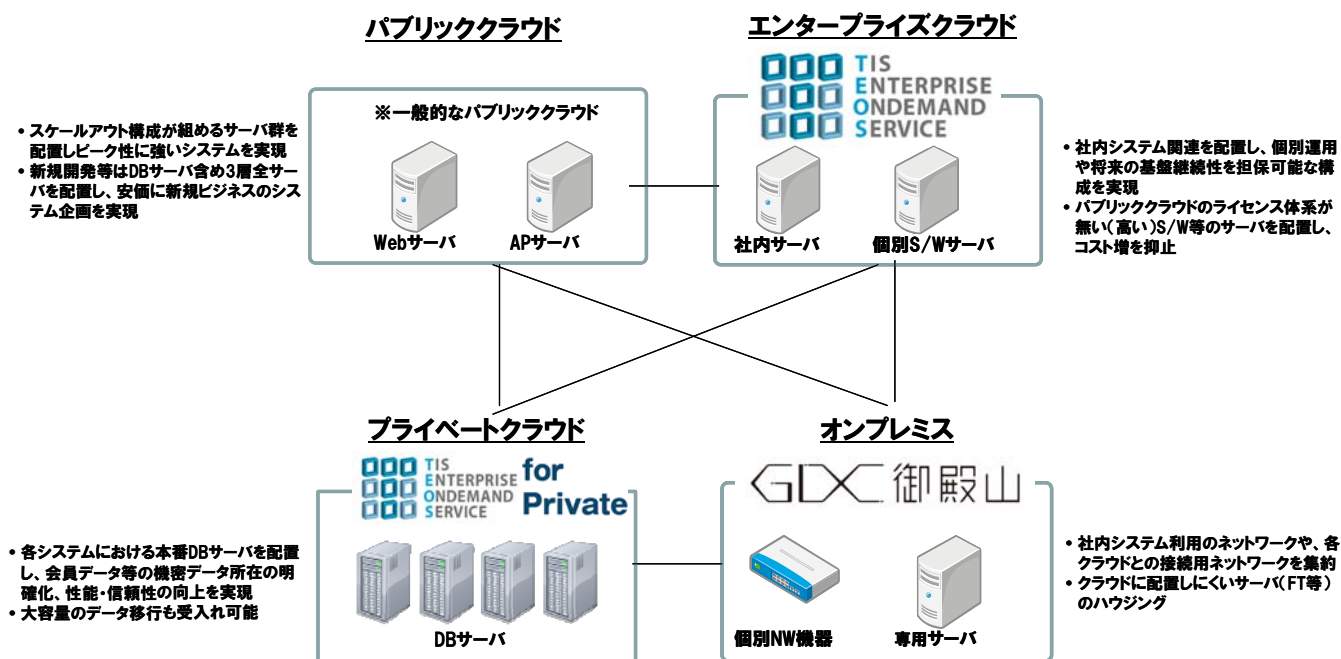
- ・各企業固有のビジネスの状況に合わせた最適なシステム環境を明確にできる
- ・システム個々の要件に求められる可用性を診断しながら、最適な再配置先が選定できるため移行時の不安が払拭できる
- ・システムの運用保守、アプリケーションのメンテナンスなどの運用負担の軽減が、クラウドサービスの活用によってどの程度可能か明確にできる
- ・将来のシステム拡張や、別環境への移行を考慮したシステム環境が設計できる
- ・システムの継続利用の可否判断や、クラウド活用による固定費の削減等により、どの程度コストメリットが出るのか試算できる

■ 『Cloud × Vision』 活用後のシステムインフラ環境の提案

TIS ではパブリッククラウド、エンタープライズクラウド、プライベートクラウドの各クラウドサービスに加え、オンプレミス型の環境までのトータルな提案が可能です。さらに、異なるクラウド環境上のシステム同士であっても、TIS の DC (データセンター) の構内回線や閉域網でシームレスかつセキュアに接続できるため、一元的な運用管理も実現できます。

そのため、本サービスのコンサルテーション単独でのご利用だけでなく、新環境の実現に TIS の DC 環境をご活用いただくことで、安全かつスピーディに新環境に移行することができます。また、実現にあたっては新たなシステムインフラ環境の検証実施も可能です。

<シームレスかつセキュアに接続可能な TIS の各環境例>



『Cloud × Vision』の詳細については、以下 URL をご参照下さい。

http://www.tis.jp/service_solution/cloudvision

◆IT 戦略コンサルティングサービスについて

IT 戦略コンサルティングサービスは、TIS の IT 戦略立案から IT 導入までを支援してきた経験・ノウハウをもとに、経営課題における昨今のテーマや課題解決の目的・お客様ベネフィットの軸を、4つのテーマと3つのニーズからなるメニューに体系化したコンサルティングサービスです。詳細は、以下 URL をご参照下さい。 http://www.tis.jp/service_solution/isc

◆TIS Enterprise Ondemand Service について

TIS Enterprise Ondemand Service は、企業 IT システムに向けたサーバ環境やネットワークサービス/運用機能をオンデマンドで提供するサービス (IaaS) です。詳細は以下 URL をご参照下さい。 http://www.tis.jp/service_solution/cloud/

◆GDC 御殿山について

GDC 御殿山は、東京の中心、山手線内に位置し、地震や水害、火災などの災害リスクに対しての高い安全性と最新鋭の技術・設備を備えた都心型データセンターです。詳細は以下 URL をご参照下さい。 <http://www.tis.jp/branding/gotenyama/>

◆TIS 株式会社について

IT ホールディングスグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通/サービス、公共、通信など様々な業界で3000社以上のビジネスパートナーとして、お客様の事業の成長に貢献しています。詳細は以下をご覧ください。 <http://www.tis.co.jp/>

◆IT ホールディングスグループについて

IT ホールディングスグループは、様々なお客様を IT で支援する IT エキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

TIS 株式会社 コーポレート本部 企画部 浄土寺/伊藤
TEL : 03-5337-4232 E-mail : tis_pr@ml.tis.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

TIS 株式会社 IT 基盤サービス本部 大橋/内藤/浅井
TEL : 03-5337-4395 E-mail : teos-info@ml.tis.co.jp